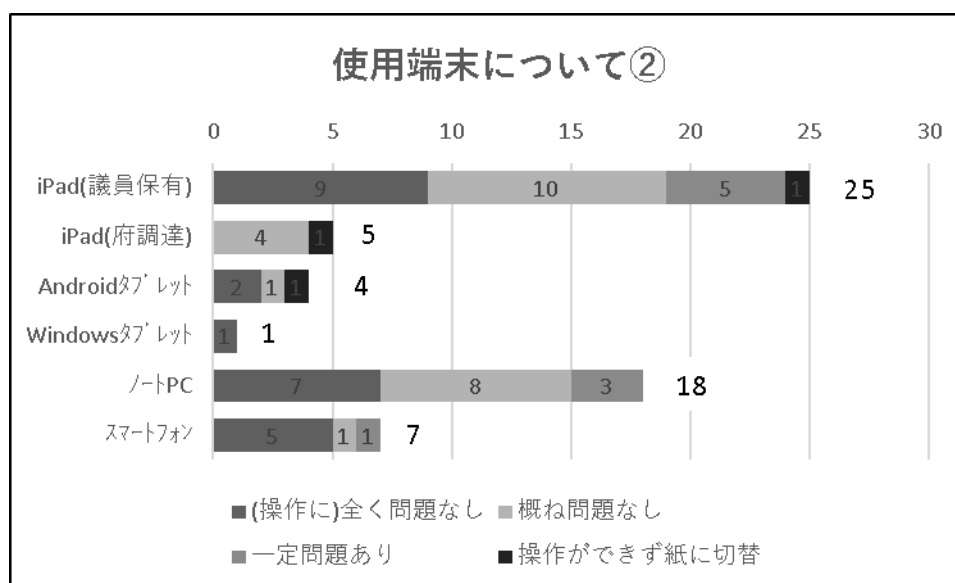
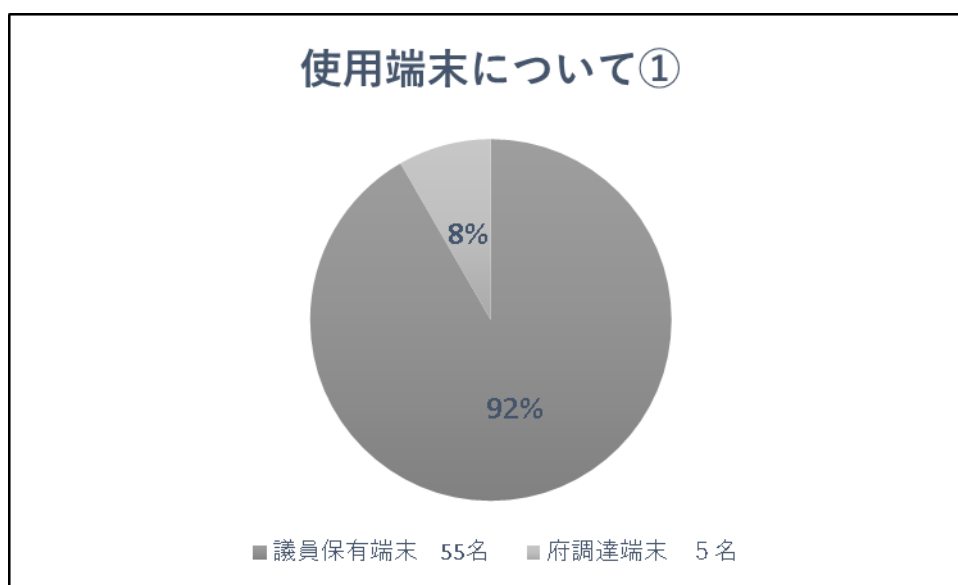


ペーパーレス常任委員会振り返りアンケート結果まとめ

1 使用端末に係るまとめ

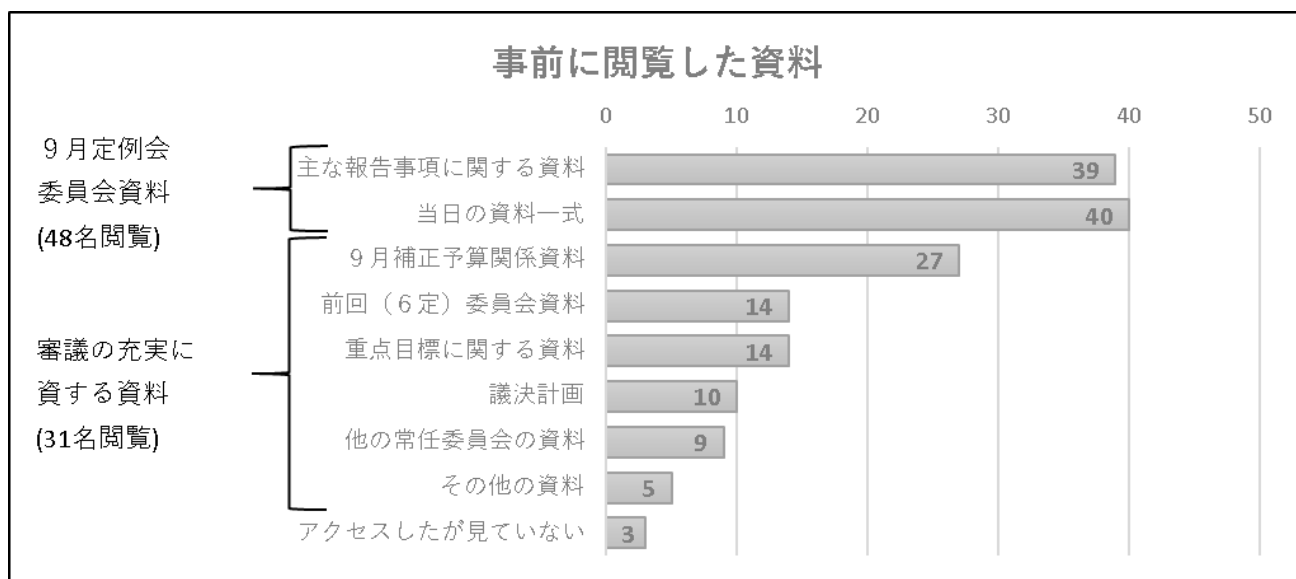
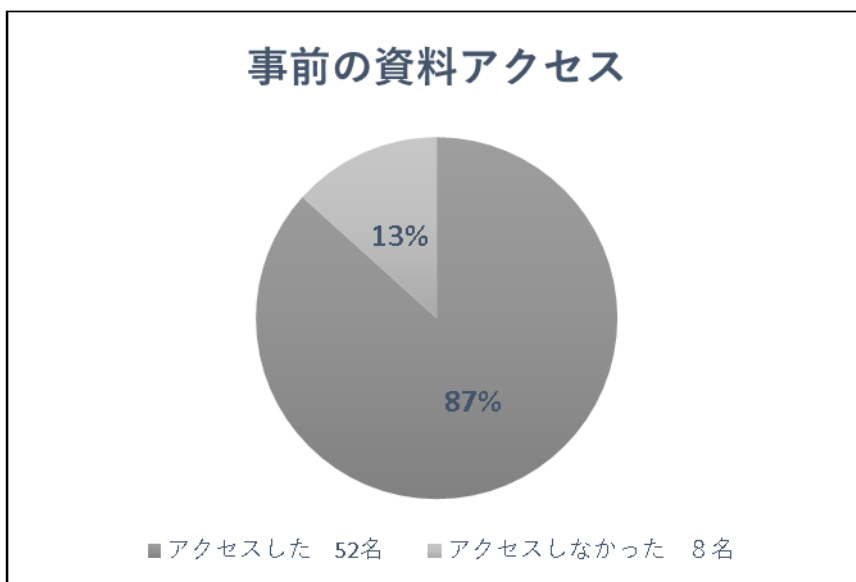
- 92%の議員が自己保有の端末を使用し試行に参加した。
- 端末の違いにより大きな不都合が生じた等は見受けられない。



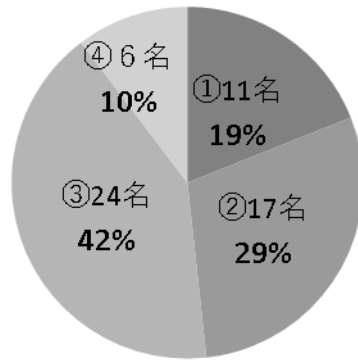
※ 2種類の端末を使用している議員あり

2 格納資料に係るまとめ

- 87%の議員が事前の資料にアクセスしており、議会棟外からのアクセスも多い。
- 48名の議員が事前に「委員会資料」を閲覧したほか、31名の議員はその他の「審議の充実に資する資料」を参照している。
- 今後格納する資料としては、「会議資料のほか、府のHPなどインターネット上で公開されてものも含めた審議の充実に資する資料」を希望する意見が最も多かった。
- 一方で格納資料を多くすることについての事務局等の負担を懸念する意見もあった。
- また、資料の格納時期についてもより早期にすべきだという意見があった。

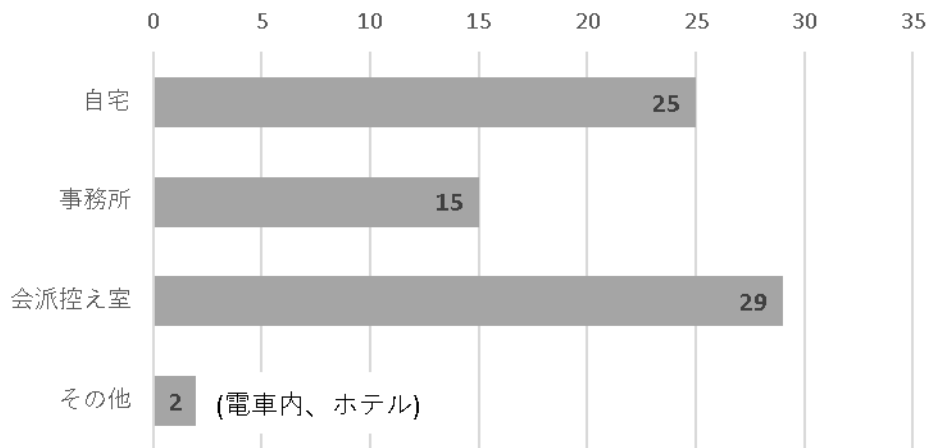


格納を希望する資料



- ①会議資料のみでよい
- ②会議資料及び審議の充実に資する資料（府HP等での公開資料を除く）
- ③会議資料及び審議の充実に資する資料（府HP等での公開資料を含む）
- ④なんともいえない

アクセスした場所



※未回答 2

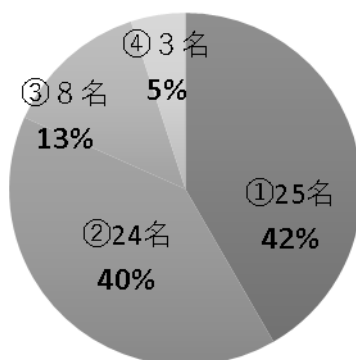
格納を希望する資料に関する主な意見

- 今回、WITH コロナ・POST コロナ戦略や府総合計画など主要な計画が格納されていたのがよかった。
- 予算フリップや予算説明書の格納を希望する。
- 所管部局の重点目標の格納を希望する。
- 格納資料は事務局の負担が大きくなりすぎない範囲にした方がよい。
- 会議資料は少なくとも一週間程度前には格納（公開）すべきだ。

3 委員会の運用に関するまとめ

- 端末の操作については「全く問題がなかった」及び「おおむね問題がなかった」という回答が82%を占めるが、紙資料に比べて使いづらいという意見も複数あった。
- 委員会運営及び理事者説明についてはともに「全く問題がなかった」及び「おおむね問題がなかった」という回答が92%を占めるが、設備・環境面、運用方法等について多数の個別意見が挙がっている（P 6 参照）。

端末の操作について



- ①操作には、全く問題がなかった
- ②操作には、おおむね問題がなかった
- ③操作に一定の問題はあったが、最後までペーパーレスの操作に取り組めた
- ④操作ができず、途中で紙資料に切り替えた

端末の操作に関する主な意見

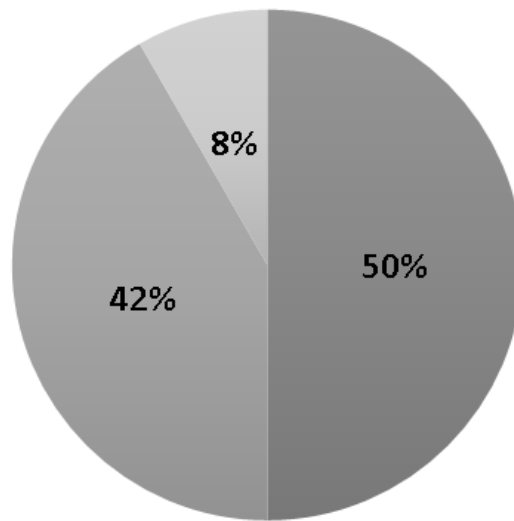
<使いやすさに関する意見>

- 紙の資料の方が見やすく感じる、特に多ページにわたる資料は紙の方がよい。
- タブレットの画面が小さく、質疑しながら読むのは難しかったため、紙に印刷した資料を使用した。
- 複数の資料を同時に見ることができないのが不便だった。
(注) システム上、複数のファイルを同時に表示する方法はある。
- メモや下線機能について紙のようにスムーズにできなかった。
- 前の資料への振り返りが不便だった。
(注) システム上、閲覧履歴を表示して戻る機能はある。

<動作に関する意見>

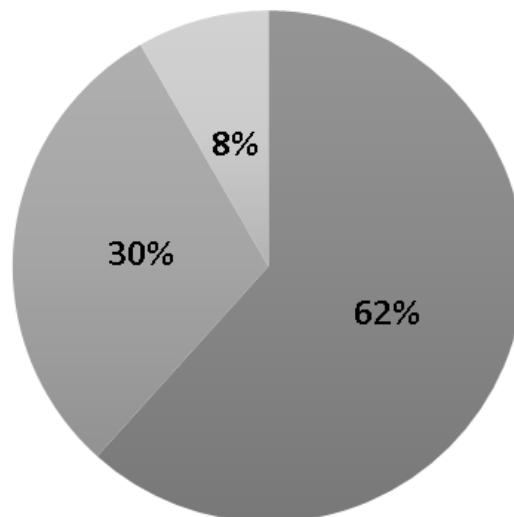
- ページを繰り返すとフリーズを起こした。

委員会運営について



■ 全く問題がなかった 30名 ■ おおむね問題がなかった 25名
■ 課題がある 5名

理事者説明について



■ 全く問題がなかった 37名 ■ おおむね問題がなかった 18名
■ 課題がある 5名

委員会運営、理事者説明に共通する主な意見

<ペーパーレス運営全般に関する意見>

- サイドボックスではなく、資料を公開し、議員には電子データを事前にメール等で送信すればよいと思う。

<設備・環境に関する意見>

- Wi-Fi が繋がらない（途切れる）機種があった。
- 端末の充電に不安がある。

<操作に慣れない議員へのフォローについての意見>

- 操作ができない議員が資料を見られないまま進行していたようだった。操作に慣れるまでは進行スピードを落とし、都度、操作を確認する方法がよいのではないか。
- FAQの作成、操作テクニックの共有、講習会の開催など操作が苦手な議員へのフォローが必要ではないか。
- サイドボックスの使い方について毎回の改善点は、以降の委員会で使えるマニュアルのようなものにして追加していくとよい。

委員会運営に関する主な意見

<ペーパーレスの範囲に関する意見>

- 日程などペーパーレス化する効果のない資料もあった。
- 送付しなくても良い資料もあるのでは？職員の負担が増えないようにしてほしい。

<通知機能に関する意見>

- 委員が質問するときも資料を共有化した方がわかりやすい。
- 事務局、委員長及び理事者からの「通知」は有効。委員による「通知」についても有効だが、ルールが必要かもしれない。

理事者説明に関する主な意見

<説明資料に関する意見>

- ページ数の多い資料は紙の方が早くめくれる。ペーパーレス会議をしている民間は説明用の別資料（パワーポイントなど）で説明している。
- 報告事項の資料については2～3日前には公開できないか。

<説明方法に関する意見>

- ペーパーと併用になっているため「資料では〇〇ページ」という説明が必要となり手間が加わっている印象を受けた。

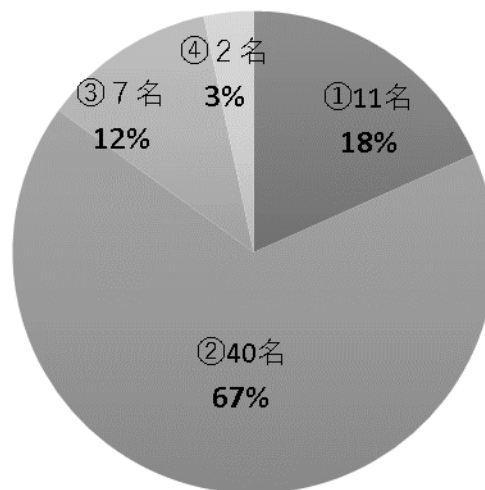
<情報端末・システムに関する意見>

- 理事者が使用するノートパソコンが見づらいのではないかと感じる。審議の充実のために理事者にも画面の大きなタブレットを使ってもらうのが良いのではないか。
- 二列目以降の理事者の情報端末・システム使用をどうするのかの検討が必要。

4 ICTの方向性に関するまとめ

- 紙資料の取扱いについては、「データの会議資料を基本とするが、議員がデータを印刷して持ち込むのは認めてよい」とする、今回の試行どおりの運用がよいとする意見が最も多かった。一方で、紙資料を廃止する意見や、逆に紙での資料配布を求める意見もあった。
- 今後の試行の拡大については、予算・決算特別委員会に導入するという意見と、その他の特別委員会に導入するという意見が半数を超えていた（32名、38名）。一方で他の会議への拡大は時期尚早とする意見も10名あった。
- その他のICT化については、「会議の開催通知等」、「出欠・安否(アンケート機能)」、「スケジュールの共有」といった、事務局からの連絡・調整にかかる事項について進めてはどうかという意見が多かった。
- 端末の調達については各議員で調達するのがよいとする意見が67%と多かったが、府が調達する方がよいとする意見も13%あった。

紙資料の取扱いについて

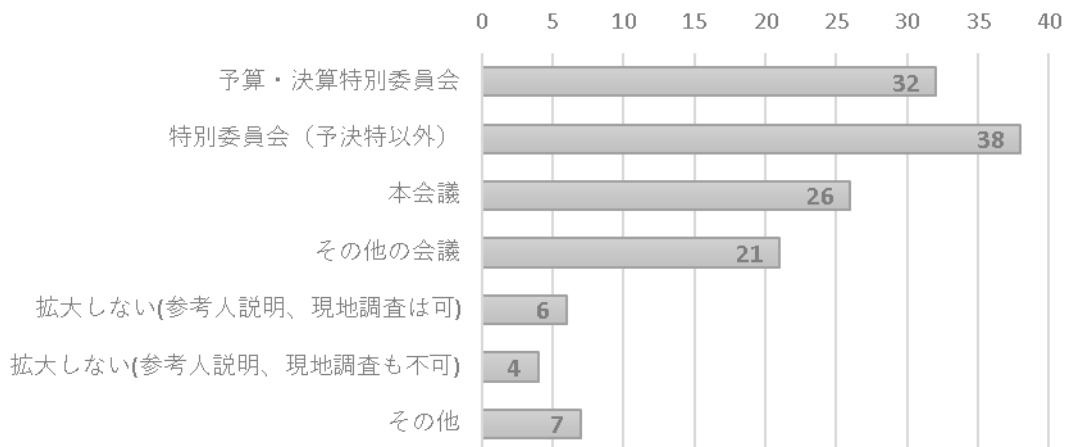


- ①データの会議資料を基本とし、紙の会議資料は廃止する。
- ②データの会議資料を基本とするが、議員がデータを印刷して持ち込むのは認めてよい(今回の試行のとおり)
- ③その他
- ④なんとも言えない

紙資料の取扱いに関する主な意見

- 個人や会派で紙資料をプリントアウトするのは膨大な作業で大変。紙でもらいたい。
- 議会のICT化にかかわらず資料の事前配付を努めるべき。
- 分量の多いものは紙資料がよい。
- 理事者と足並みを揃えることが必要。

今後試行を拡大する会議



今後試行を拡大する会議に関する主な意見

<拡大に積極的な意見>

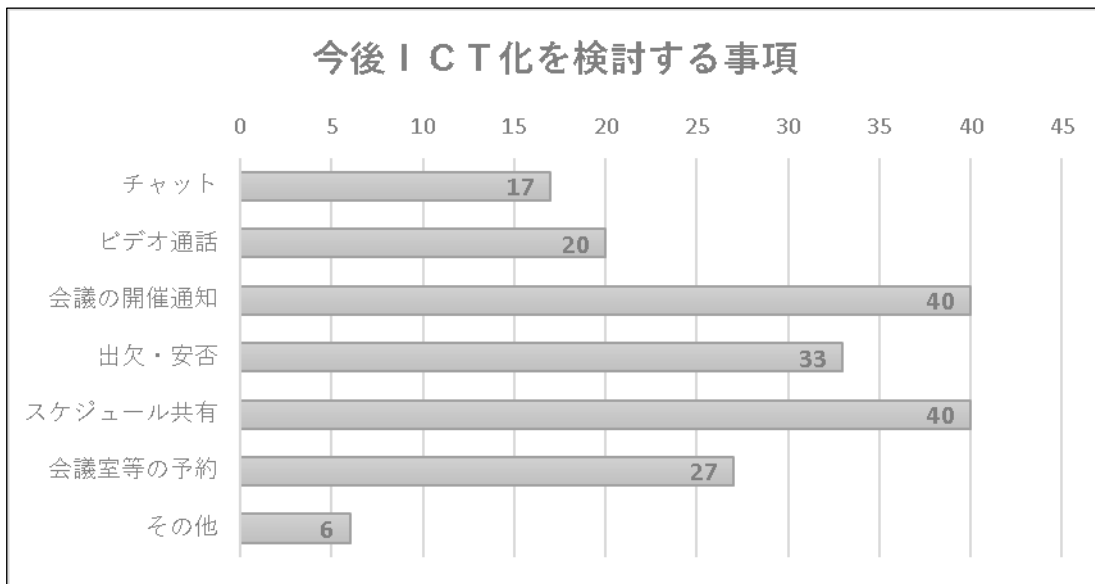
- 全ての会議において導入すべき。
- 議会運営員会、全員協議会に導入してもらいたい。
- 議会運営委員会、同理事会、政策調整会議、広報広聴会議に導入してもらいたい。
- 会議だけでなく、議案やまとめ冊子といった机上配布物のペーパーレス化も検討してよいのではないか。

<拡大に慎重な意見>

- 導入会議の拡大より、一つ一つの課題を検証して進めるべき。
- （導入するとしても）どの委員会でもペーパーと並行にしてほしい。

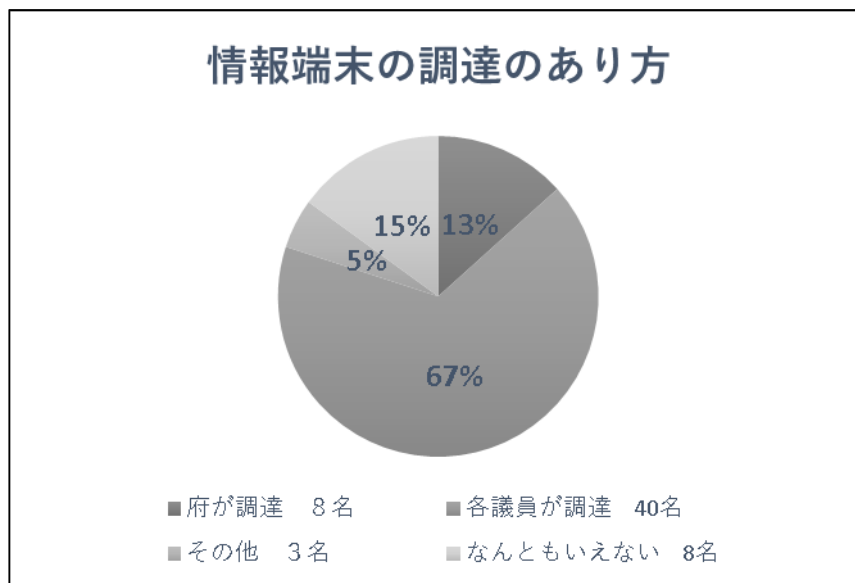
<その他の意見>

- 対象の会議とともに対象の資料の論議が必要。理事者と足並みを揃えることも必要



今後試行のICT化に関する主な意見

- 議員目線ではなく府民目線で「誰でも見られる、わかる」という視点で検討すべき



情報端末の調達のあり方に関する主な意見

- それぞれの希望に合わせるのがよい。

5 議員のICT環境に関するまとめ

- 58名の議員については事務所にインターネットに接続したパソコンがあり、残り2名についてもWi-Fi環境はあることから、環境面については、全ての議員がインターネットを活用した活動を実施できる。
- 42名の議員についてはオンラインでビデオ会議を行える環境があった。

